

衛生管理に係る実践事例



推進校は、飼育動物の衛生管理を適正に行うに当たり、学校担当獣医師から飼育動物の健康診断や飼育環境等について、指導・助言等の支援を受けています。



新宿区立東戸山小学校

【実践の概要】

- 主に第1・2学年の児童が生活科の学習の一環としてヤギの飼育を行った。
- ヤギ小屋が2カ所に分かれているため、小屋の掃除やエサ・水・塩を移動させるときの留意点等について、学校担当獣医師から指導・助言を受け、飼育方法の改善を行った。
- 保護者・地域等によるヤギボランティアの会についても、すのこやエサ入れの衛生管理について、学校担当獣医師から指導・助言を受けて活動した。



掃除の仕方について指導・助言を受けている様子

【児童の反応等】

- 学校担当獣医師から衛生管理に係る指導・助言を受けたことで、当番の児童が清掃後に確実に手を洗うようになる等、ヤギのお世話をする時の児童の意識が変わった。
- 学校担当獣医師から、衛生管理に係る指導・助言を受けるとともに、今年度の指導の重点や第1・2学年の当番活動時の指導内容や流れ等についても具体的に確認することができ、児童の飼育活動が充実した。



大田区立赤松小学校

【実践の概要】

- 生活科「生きもの 大すき」の一環として、4月から11月までは第2学年の児童、12月からは第1学年の児童がモルモットの飼育を行った。
- 学校担当獣医師の指導・助言を受けて、飼育日誌を書くこととした。元気があるか、エサを食べているか、ふんの状態等を観察する項目として、日々の飼育活動に生かした。
- 飼育委員会の児童が飼育しているウサギについても、学校担当医師による衛生管理に係る指導・助言を年間2回実施した。



健康観察のポイントについて指導・助言を受けている様子

【児童の反応等】

- モルモットの飼育については、飼育日誌の活用により、爪の伸び方、目やふんの様子等、丁寧に観察ができるようになった。ウサギの飼育については、ウサギのストレスが蓄積しないようウサギ小屋の環境を考えながら、児童が主体的に清掃活動等を行うことができるようになった。
- 学校担当獣医師から、夏季休業前に猛暑対策について指導・助言を受けた。このことは、長期休業中における保護者ボランティアによるモルモットのホームステイに生かすことができた。



世田谷区立松原小学校

【実践の概要】

- ウサギを主に飼育している第5、6学年の飼育委員会の児童が、学校担当獣医師からウサギの特性や飼育する上で留意すること等について、衛生管理に係る指導・助言を受けた。
- ウサギ小屋の様子や飼育日誌を学校担当獣医師に適宜確認してもらうことにより、児童への指導・助言の内容が飼育動物や児童の実態に合ったものとなるようにした。



ウサギの特性等について指導・助言を受けている様子

【児童の反応等】

- 適切なエサや水の量、ふんや尿の処理の仕方、ウサギの健康状態の観察の仕方等、衛生管理に係る指導・助言により、ウサギに対する児童の対応が大きく変化し、気になることがあると、すぐに飼育担当の教員に報告するようになった。
- 児童がウサギの特徴や適切な飼育環境について、学校担当獣医師から直接指導を受けることで、飼育活動に対する興味・関心が高まるとともに、ウサギを飼育する責任ややりがいを今まで以上に感じ、主体的に飼育活動に取り組むようになった。